

✦ ご挨拶



54年ぶり、11月に東京で初雪記録。まだ富山は降っておらず、逆転現象が起きています。ですが、「富山も都会になった？」と笑ってもいられないようで……聞くところによると、54年前の（昭和37年）11月に同じく都心で積雪、翌年正月に「38豪雪」が起きたというのです。「2階の窓から家に入りましたものだ」と、当時を知る方に教えていただきました。寒さが厳しくなるのはこれから、気を引き締めてまいりましょう。

✦ 天秤にかける？

いまだ混迷を深める「豊洲市場問題」。「整備・移転費用の増大」に伴う「情報公開不足」と共に、「安全性への懸念」がクローズアップされました。生鮮食料品を扱う場所だけに、【食の安全・健康への影響】が問題視されているのです。実際に市場へ入居する卸関係者や、消費者の立場を抜きにして進められた計画、と言っても過言ではないと思います。

歯科の場合でも同じようなことがある、と言ったら驚かれるでしょうか。実は安心安全とはいえないものが横行しつつあるのです。歯科医院で型採りをされた経験のある方はお分かりだと思いますが、欠けた歯や喪失した歯を補う完成物（詰め物・被せ物・入れ歯など）を「歯科技工物」と言います。その中で「海外委託歯科技工物：国内から海外へ委託して輸入した技工物」が年々増え、問題となっているのです。とりわけ「中国製」入れ歯から、発ガン性物質の検出が報告され、健康被害が訴えられている、と報道されたのは記憶に新しいところです。それを、日本では厳格な安全検査を行うことなく、単なる「雑貨物」として輸入されているのです。その背景の一つとして、昨今の歯科医療財政の厳しさゆえに、いかに製作コストを抑えるか、に主眼を置いている点が挙げられます。

【どこで、誰が、どんな材料で、どのように作ったものか、はっきりしない】こんな恐ろしいことはありません。各々の身体に適していない不良な歯科技工物

を装着されることによって、長期間にわたり体調不良を生じる可能性も危惧されます。「早い・安い」を基準とするか、それとも「安心・安全」を優先するか、医療者・患者側双方に課された問題なのです。

✦ 気をつけて！

警察庁は振り込め詐欺等の「特殊詐欺」について、昨年（H27）1年間における認知件数は1万3,828件、被害額は476億8千万円に上ると公表しました。

最近はますます手口が巧妙化。単に「オレオレ！」から始まるのではなく、まず「風邪で声が変わった」とした上で、「携帯が壊れた。電話番号が変わったので登録して」と知らされます。その数日後、再度電話が掛かってくると……。自分の携帯には、家族の名前が表示されるから、簡単に身内だと信じてくれる！というカラクリで、あとはやりたい放題。こういう事例を知らないと、若い人でも危ないかも……。

振り込め詐欺に詳しい、立正大学心理学部の西田公昭教授が提唱する「詐欺撃退」の心得表が、産経ニュースに出ていました。年末が近くなってきました。ご参考までに……。

西田公昭教授が提唱する振り込め詐欺撃退の心得



✦ 頑張る アサガオくん！



昨年植えた朝顔が、小さな芽を出したのはなんと9月下旬。グングン成長して10月末に綺麗な花が咲きました～。屋外で寒さを耐え抜き、一輪また一輪と咲き続け、まだ花開こうと（11月28日現在）頑張っています。どんな逆境にあっても、「なんとかなるさ、大丈夫！」と教えてくれているに違いないのです。(=^・^=)